

所属	人間社会学部・社会福祉学科	職名	准教授	氏名	平部 康子
----	---------------	----	-----	----	-------

1. 主な研究分野

【日英の子ども支援の在り方に関する法的検討】

近年、「子どもの貧困」問題が顕在化し、我が国の社会保障制度が子どものニーズに対応できていないことが指摘されている。従来の社会保障制度において、子どもへの支援は親の状況と連動して支給を決定する仕組みをとることが多く、親の扶養責任と強く関連する給付や支給要件、子どもへの援助を世帯（主）への給付に包含するような給付、親の選択が重視される給付手続き等が定められてきた。しかし、親自身が非正規雇用であり1人で家族を養うことが難しい例や、離婚をしたが別居親から必要な養育費の分担を得られない例など、不利な状況の負担が親を通して、子にも課せられている状況が多くある。また、親子の利益が相反する場合、親が給付を適切に子どものニーズの充足に使用することができない場合など、子どもが必要な支援を受けられない事態が生じているにもかかわらずそれが見過ごされてきた。このような問題関心から、日英の比較法的研究を通じて、変容する社会経済や家族関係の中で、いかに「子ども」を社会保障法制に位置付けるかを検討する。

【日英の社会保障制度における家族負担】

家族形態の変容（核家族、単親家族）および労働市場への女性の参加が進むと、子の養育や家族の介護は、それを担う者にとって2重の負担（労働機会の喪失、養育や介護のための出費）となる。日英の比較を通じて、社会保障法上にちらばっている家族給付や福祉サービス（児童手当、介護手当や各種加算、介護および保育サービス）と負担（所得制限、費用負担）において家族負担がどのように位置づけられてきたかを把握するとともに、アンペイドワークを担う者が適切に評価され、他人の世話を要する者の支援を家族と社会で分担しうる社会保障法制を検討する。

2. 研究業績

<著書>

- ・ 平部康子「社会福祉の財政と利用者負担」 河野正輝編『社会福祉法入門 第3版』（2015年、有斐閣）
- ・ 平部 康子「イギリスの介護保障」 増田雅暢編『世界の介護保障』（2014年、法律文化社）

<論文>

- ・ 平部康子「児童相談所長による里親委託等の承認の申立て」岩村正彦他編『別冊ジュリスト 社会保障判例百選 第5版』（2016年、有斐閣）

<その他>

・教育プログラムの開発

「学生の国際的理解の学習意欲を高める教育プログラムの開発に関する研究」（平成26-27年度研究奨励交付金）

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会保障法学会・理事・学会誌編集委員
日本労働法学会

6. 担当授業科目

(学部)

教養演習・2単位・1年・前期、公的扶助論・2単位・2年・後期、社会福祉援助技術現場実習指導・3単位・2年後期～3年通年、権利擁護と成年後見制度・2単位・3年・前期、社会福祉法制論Ⅰ・2単位・3年・前期、3年・前期、外書講読A・2単位・前期、社会福祉法制論Ⅱ・2単位・3年・後期、3年・通年、社会福祉援助技術現場実習・4単位・3年・前期、相談援助演習C・2単位・3年・後期、社会福祉学演習・2単位・3年後期～4年前期、卒論指導・6単位・4年・後期、日本事情Ⅰ・2単位・留学生・後期、(大学院)
社会保障制度研究・2単位・後期

7. 社会貢献活動

- ・内閣府「諸外国における子供の貧困対策に関する調査研究」企画分析委員
- ・福岡県職業能力開発審議会・委員
- ・福岡県営住宅管理審議会・委員
- ・福岡県土整備部・建築都市部公共事業再評価検討委員会・委員
- ・新福岡県住生活基本計画策定検討委員会 住宅セーフティネット部会・部会員
- ・田川市男女共同参画審議会・委員長
- ・香春町次世代育成支援対策協議会・委員長
- ・香春町教育委員会評価委員会・委員長
- ・香春町立小中学校再編推進審議会・委員長
- ・飯塚市指定管理者選定委員会・委員長

8. 学外講義・講演

- ・救急救命士養成研修 救急救命九州研修所「社会保障と社会福祉」
- ・平成27年度民生委員・福祉委員研修 飯塚市幸袋社会福祉協議会「イギリスの高齢者福祉と児童福祉の動向」
- ・平成27年度役員・施設長研修 北九州市社会福祉研修所「福祉施設における事故とその対応」

9. 附属研究所の活動等

なし